

●改修周期の設定

本計画では、構造体や部材の使用年数・更新時期を考慮し、各施設の改修周期を以下のとおり設定することとします。

	目標使用年数	大規模改造周期	長寿命化改修周期
校 舎	80年	築20年／築60年	築40年
体 育 館	80年	築20年／築60年	築40年
プ ー ル	80年	築20年／築60年	築40年
教職員住宅	80年	築20年／築60年	築40年

第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

1. 改修等の整備水準

(1) 整備水準の設定項目

「耐久性」「安全性」「機能性」「環境性」「防犯性」の観点から本計画の整備水準を設定します。

部位			建設当初の標準仕様	大規模改修（標準仕様）	長寿命化改修（機能改善）	修繕レベル
			低		高	
外部	屋根・屋上		シート防水（塩ビ・合成ゴム）	シート防水（機械式）	外断熱シート防水（勾配取り直し）	パッチ補修 クラック補修
			塗膜防水（ウレタン）	シート防水張り		
			カラー鉄板	塗膜防水（スプレー工法）		
	躯体	鉄筋コンクリート	当時の施工方法による	クラック補修、断面補修	中性化抑制（浸透）	—
		鉄骨	当時の施工方法による	対応なし	鉄骨腐食抑制	
	外壁	RC造	外装薄塗材E（リシン吹付）	防水型複層塗材E	内断熱、外断熱工法	トップコート
			外装複層塗材E（弾性タイル）			
		S造	ALC（仕上げ塗装）	防水型複層塗材E	内断熱、外断熱工法	
	外部開口部		アルミサッシ	対応なし	サッシ交換（強化ガラス）	シーリング 打替え
			スチール扉			
	給排水設備	給水	ライニング鋼管	対応なし	硬質塩化ビニル配管	
内部	各室	内装材	EP塗装	対応なし	内装全面撤去・更新（木質化）	劣化部塗装
		換気設備	自然換気	対応なし	機械換気（CO2対策）	
	廊下	間仕切壁	スチール枠、アルミ枠	木製スクールパーテーション	—	
		床	シート床、フローリングブロック	床シート張り替え	床の全面撤去・更新（木質化）	
		出入建具	スチール扉	木製スクールパーテーション	—	
	階段室	防火戸	防火戸（当時の基準法）	対応なし	防火戸改修（現行基準法）	
	トイレ	床	ウェット式（タイル仕上げ）	ドライ式（床シート）、段差解消	—	
		衛生器具	和式便器、一般小便器、一般水栓	洋式便器、節水型小便器	—	衛生器具交換
		照明器具	手動照明	自動照明	自動照明	器具交換
	電気設備	照明器具	蛍光灯	LED照明	LED照明	器具交換
設備	給排水設備	給水	受水槽方式	高架水槽撤去・直結増圧給水方式	雨水・中水利用	
	空調設備	冷房	対応なし	マルチエアコン	配管整理	
		暖房	FFストーブ	ベレットストーブ	配管整理	器具交換
その他	I C T 環 境		対応なし	LAN環境整備	配線整理	
	バ リ ア フ リ ー		対応なし	手摺設置、スロープ設置	多目的トイレ 兼用エレベータ設置	
	防 災		対応なし	対応なし	非常用自家発電 耐震性貯水槽	
	ア ス ベ ス ト		対応なし	対応なし	含有塗膜材撤去（改修時）	
	防 犯		対応なし	防犯カメラ、出入口認証装置	職員室移動 職員室ガラスパーテーション	

（２）用途別の整備について

●校舎

校舎の耐震化は、平成 19 年度の下吉田第一小学校、平成 15 年度の吉田中学校の耐震補強工事により、すべて完了している。しかし、高架水槽や受水槽、ガラス、書棚等の非構造部材の耐震化は未完了のため、今後の改修に併せて耐震化を図るものとします。

老朽化が進行しているため、「指針」や「本計画」を指標とし、これまでの改築（建て替え）中心の整備から、長寿命化に重点を移し、老朽施設の大規模改修及び予防保全の修繕を計画的に行っていくものとします。老朽化対策にあたっては、普通教室等に冷房設備を設置することや屋上防水の外断熱化、躯体の中性化抑制等の改修を行い、文部科学省の国庫補助も活用しながら財政負担の軽減に努めます。

●体育館

下吉田第一小学校を除く 6 小学校においては、平成 21 年～平成 24 年度において、改築を行い耐震化は終了しています。下吉田第一小学校については、令和元年度 6 月に市民体育館を小学校体育館として移管していますが、昭和 58 年度に建設されていることから老朽化が進行しており、早急な対策が必要となっています。

中学校体育館については、昭和 57 年～昭和 60 年度において建設され、雨漏り・照明不具合等の老朽化が進行しています。順次、改修工事を行っていますが、根本的な解決には至っておらず、雨漏りの抜本的な改修・トイレの洋式化・多目的トイレ設置・照明 LED 化・スロープ設置等のバリアフリー化や防災機能の強化を進めるため、文部科学省の長寿命化改良事業の国庫補助を活用しながら、施設の長寿命化を図ります。

●グラウンド

グラウンドは、風による砂の飛散やゲリラ豪雨等によって路盤が削られることで、段差や下層の碎石が露出して、児童生徒の屋外活動に支障をきたすことが懸念されています。また、既設の浸透柵においても、設置当初から改修が行われていないため、目詰りが発生している状況である。学校敷地内で浸透処理が出来ていないため、余剰分の雨水（グラウンド砂混り）は、道路に流れ出し、近隣環境に影響を与えています。

改修にあたっては、優先順位を決めて計画的に整備していくこととします。

●プール

すべての小中学校に屋内型のプールが整備されているが、建設後に改修が行われておらず、プールやプールサイドの劣化、循環浄化装置やボイラー等においては、耐用年数が近づき、更新の時期に差し掛かっています。全体的な改修が必要になっているが、大規模改修費用や維持管理に伴う光熱水費や保守点検、修繕費に関する経費も年々増加しているため、今後は、隣接の学校のプールを共同利用する方法や民間のプールを利用する方法など、プールのあり方を検討するものとします。

●教職員住宅

東町教職員住宅については、今後の定期的な点検の状況によって、必要な改修を行い、使用できる限り使用することを目指します。寿町教職員住宅については、市営寿団地との関係性を整理し、その結果で解体を行うものとします。

2. 維持管理の項目・手法等

(1) 維持管理に係る予算について

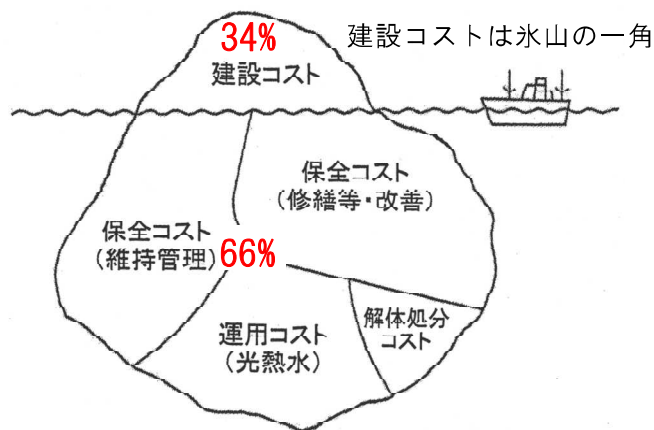
小中学校の学校施設維持に関わる予算については、以下の表のとおりです。

光熱水費や保守点検、法定点検等の経常的な歳出が多く、維持管理に伴う必要な経費となっています。施設が存在する限り、歳出し続ける項目であり、将来のライフサイクルコスト（LCC）にも影響を与えています。一般に建築のコストを考えると、その建設コストのみを評価しがちですが、次頁の図に示すように、建設コストはLCCからみれば氷山の一角に当たるもので、水面下にかくれている光熱水、維持管理、修繕、解体等に要するコストを同時に含めて考えていかなければ、本当に必要となる建築物の生涯にわたるコストを検討したことにはなりません。

区分		名称	周期	分類	対象施設
消耗品		グラウンド用混合土	毎年	小学校 中学校	小中学校 11 施設
		砂場用砂			
		清掃用消耗品			
		道路補修材			
		電球			
燃料費		灯油			
		ペレット			
光熱水費		上下水道料金			
		電気料金			
		ガス料金			
修繕料					
通信費		電話料金			
使用料及び賃借料		校庭整備用重機借り上げ			
		AED 使用料			
		防犯カメラ使用料	毎年	小中学校	小中学校 11 施設
手数料	法定点検以外	樹木伐採	毎年	小学校 中学校	小中学校 11 施設
		屋根軒先清掃			
		ペレットストーブ保守点検			
委託料	法定点検以外	プール循環装置保守点検	毎年	小学校 中学校	小中学校 11 施設
		プール開閉式屋根保守点検			
		校舎機械警備			
		樹木の手入れ			
		病害虫駆除			
		松くい虫防除			
		校舎窓ガラス清掃			
		受電盤清掃			
		遊具点検	1 回/1 年	小学校	小学校 7 校

法定点検	建築基準法	特殊建築物定期調査	1 回/3 年	小学校 中学校	小中学校 11 施設
		エレベーター定期点検 小荷物専用含む	1 回/1 年	小学校	下吉田第二小学校
					明見小学校
					吉田小学校
					吉田西小学校
	電気事業法	電気設備保守点検	1 回/1 年	小学校 中学校	小中学校 11 施設
	消防法	消防設備保守点検			
	労働安全衛生法	ボイラー設備保守点検			
	水道法 学校環境衛生基準	受水槽清掃点検			
		飲料水・プール水質検査			
		簡易専用水道検査			
		シックハウス検査			
	浄化槽法	浄化槽維持管理	1 回/1 年	中学校	明見中学校

「平成 31 年度版 建築物のライフサイクルコスト」によると標準的な学校（校舎）の LCC に、建設コストが占める割合は 34%、それ以外の運用・保全コストは 66%となっており、今後の学校施設の計画にあたっては、建設～保全・運用～解体までのコストを考える必要があります。



LCC 図 「平成 31 年版 建築物のライフサイクルコスト」より

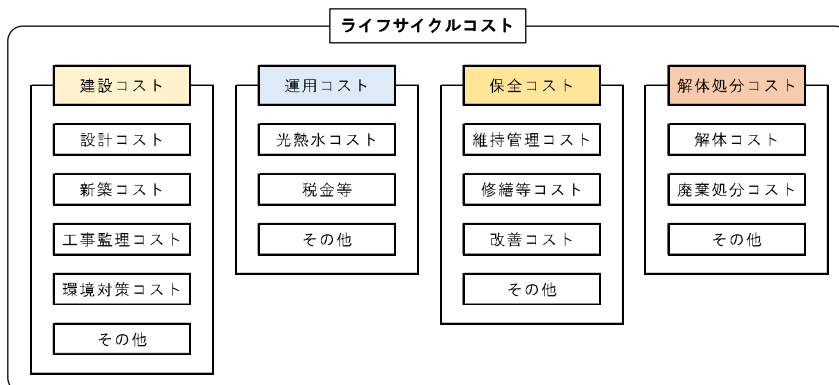


表 ライフサイクルコストの構成コスト

(2) 点検・評価結果の蓄積

各学校施設の維持管理を効率的・効果的に実施するため、躯体以外の劣化状況の点検・評価の項目を「劣化状況調査票」に設定します。

点検については、以下の劣化状況調査票を参考に、建築基準法第12条点検等、各法令の点検時期に合わせ、今後3年周期で点検を行い、新たな劣化状況の記録や改善状況記録、工事履歴、改修・点検年度等を記録、更新していくものとします。

通し番号					
学校名			学校番号		
建物名			調査日		
棟番号			記入者		
構造種別			建築年度	年度(年度)	
	延床面積	m ²	階数	地上	階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☒ シート防水、塗膜防水 ☐ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()	H O	防水改修	☐ 降雨時に雨漏りがある ☒ 天井等に雨漏り痕がある ☒ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☒ 樋やルーフトンを目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある	2 3 4	ルーフトン廻りが特に劣化している。	C
2 外壁	☒ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル(ALC等) ☐ その他の外壁 () ☐ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス	H O	外壁改修	☒ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☒ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある	4 3	南側の劣化が顕著である。	C

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 老朽改修 ☐ エコ改修 ☐ トイレ改修 ☐ 法令適合 ☒ 校内LAN ☒ 空調設置 ☐ 障害児等対策 ☐ 防犯対策 ☒ 構造体の耐震対策 ☐ 非構造部材の耐震対策 ☐ その他、内部改修工事	 H O LAN改修 H O 空調設置 H O 耐震補強	 床塗装改修 キュービクル改修	B
4 電気設備	☒ 分電盤改修 ☐ 配線等の敷設工事 ☒ 昇降設備保守点検 ☐ その他、電気設備改修工事	H O 盤改修 H O	 指摘事項なし	B
5 機械設備	☐ 給水配管改修 ☐ 排水配管改修 ☒ 消防設備の点検 ☐ その他、機械設備改修工事	 H O	 受水槽・高架水槽の老朽化が顕著である。 指摘事項なし	C

「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」より

第6章 長寿命化の実施計画

1. 改修等の優先順位付け

学校施設においては、解体・増築が繰り返し行われており、築年数の古い校舎が、中心に残されているなど、棟数が比較的多く、小学校・中学校・教職員住宅を合わせると合計で93棟の建物があります。

これらを各々で優先順位を付けることは可能だが、面積が大きいものから小さいものまで様々であるのと、それぞれで改修を考えると非効率になってしまうため、施設単位で取りまとめを行い、小学校が29棟、中学校が16棟、教職員住宅が2棟の合計47棟で計画を策定します。

取りまとめた結果は以下の表である。

小学校						中学校					
通し 番号	施設名	建物名	延床 面積 (㎡)	築年数	健全度 (100点 満点)	通し 番号	施設名	建物名	延床 面積 (㎡)	築年数	健全度 (100点 満点)
1	下一小学校	校舎	3,700	40	55.2	30	下吉田中学校	校舎1	4644	47	51.6
2	下一小学校	屋内運動場	831	36	50.8	31	下吉田中学校	校舎2	3000	36	49.7
3	下一小学校	屋内プール	707	27	59.4	32	下吉田中学校	屋内運動場	1565	35	84.3
4	下二小学校	校舎1	3,371	41	58.7	33	下吉田中学校	屋内プール	925	25	37.8
5	下二小学校	校舎2	3,131	36	67.1	34	明見中学校	校舎1	4641	46	47.3
6	下二小学校	屋内運動場	1,278	9	90.8	35	明見中学校	校舎2	283	40	53.0
7	下二小学校	屋内プール	899	23	91.5	36	明見中学校	屋内運動場	1358	36	84.3
8	下東小学校	校舎1	1,920	43	62.3	37	明見中学校	格技場	602	29	50.8
9	下東小学校	校舎2	1,980	43	55.2	38	明見中学校	屋内プール	967	22	75.0
10	下東小学校	屋内運動場	952	8	100.0	39	吉田中学校	校舎1	5959	49	63.7
11	下東小学校	屋内プール	899	22	56.4	40	吉田中学校	校舎2	315	53	50.0
12	明見小学校	校舎1	1,216	37	82.2	41	吉田中学校	屋内運動場(格)	1654	33	82.2
13	明見小学校	校舎2	1,871	45	61.3	42	吉田中学校	屋内プール	997	23	37.8
14	明見小学校	校舎3	2,714	19	71.3	43	富士見台中学校	校舎1	3018	38	65.0
15	明見小学校	屋内運動場	961	7	100.0	44	富士見台中学校	屋内運動場	870	36	84.3
16	明見小学校	屋内プール	811	24	69.5	45	富士見台中学校	屋内プール	757	21	72.0
17	吉田小学校	校舎1	1,353	34	66.8	教職員住宅					
18	吉田小学校	校舎2	375	34	72.0	通し 番号	施設名	建物名	延床 面積 (㎡)	築年数	健全度 (100点 満点)
19	吉田小学校	校舎3	3,898	31	82.6	46	寿町教職員	住宅	948	43	10.0
20	吉田小学校	屋内運動場	1,010	6	100.0	47	東町教職員住宅	住宅	1556	25	77.2
21	吉田小学校	屋内プール	745	25	92.0						
22	吉田西小学校	校舎1	1,792	42	52.8						
23	吉田西小学校	校舎2	2,484	42	55.8						
24	吉田西小学校	校舎3	360	38	77.2						
25	吉田西小学校	屋内運動場	972	7	100.0						
26	吉田西小学校	屋内プール	786	21	35.2						
27	富士小学校	校舎1	4,263	32	66.9						
28	富士小学校	屋内運動場	868	8	100.0						
29	富士小学校	屋内プール	728	24	65.0						

この結果をもとに築年数・健全度・施設重要度・改修難易度を踏まえたうえで、整備優先順位表を次頁で示します。

整備優先順位表（小学校 校舎）						
優先順位	施設名	建物名	延床面積	築年数	健全度 100点満点	施設重要度 改修難易度
1	吉田西小学校	校舎 1	1,792	42	52.8	I
2	下東小学校	校舎 2	1,980	43	55.2	I
3	下一小学校	校舎	3,700	40	55.2	II
4	吉田西小学校	校舎 2	2,484	42	55.8	I
5	下二小学校	校舎 1	3,371	41	58.7	I
6	明見小学校	校舎 2	1,871	45	61.3	I
7	下東小学校	校舎 1	1,920	43	62.3	I
8	吉田小学校	校舎 1	1,353	34	66.8	I
9	富士小学校	校舎 1	4,263	32	66.9	II
10	下二小学校	校舎 2	3,131	36	67.1	I
11	明見小学校	校舎 3	2,714	19	71.3	I
12	吉田小学校	校舎 2	375	34	72.0	III
13	吉田西小学校	校舎 3	360	38	77.2	III
14	明見小学校	校舎 1	1,216	37	82.2	I
15	吉田小学校	校舎 3	3,898	31	82.6	I

整備優先順位表（小学校 屋内運動場）						
優先順位	施設名	建物名	延床面積	築年数	健全度 100点満点	施設重要度 改修難易度
1	下一小学校	屋内運動場	831	36	50.8	II
2	下二小学校	屋内運動場	1,278	9	90.8	I
3	下東小学校	屋内運動場	952	8	100.0	I
4	富士小学校	屋内運動場	868	8	100.0	I
5	明見小学校	屋内運動場	961	7	100.0	I
6	吉田西小学校	屋内運動場	972	7	100.0	I
7	吉田小学校	屋内運動場	1,010	6	100.0	I

整備優先順位表（小学校 屋内プール）						
優先順位	施設名	建物名	延床面積	築年数	健全度 100 点満点	施設重要度 改修難易度
1	吉田西小学校	屋内プール	786	21	35.2	Ⅲ
2	下東小学校	屋内プール	899	22	56.4	Ⅲ
3	下一小学校	屋内プール	707	27	59.4	Ⅲ
4	富士小学校	屋内プール	728	24	65.0	Ⅲ
5	明見小学校	屋内プール	811	24	69.5	Ⅲ
6	下二小学校	屋内プール	899	23	91.5	Ⅲ
7	吉田小学校	屋内プール	745	25	92.0	Ⅲ

整備優先順位表（中学校 校舎）						
優先順位	施設名	建物名	延床面積	築年数	健全度 100 点満点	施設重要度 改修難易度
1	明見中学校	校舎 1	4,641	46	47.3	I
2	下吉田中学校	校舎 2	3,000	36	49.7	I
3	吉田中学校	校舎 2	315	53	50.0	Ⅲ
4	下吉田中学校	校舎 1	4,644	47	51.6	I
5	明見中学校	校舎 2	283	40	53.0	Ⅲ
6	吉田中学校	校舎 1	5,959	49	63.7	I
7	富士見台中学校	校舎 1	3,018	38	65.0	Ⅱ

整備優先順位表（中学校 屋内運動場）						
優先順位	施設名	建物名	延床面積	築年数	健全度 100 点満点	施設重要度 改修難易度
1	明見中学校	格技場	602	29	50.8	Ⅱ
2	吉田中学校	屋内運動場(格)	1,654	33	82.2	I
3	明見中学校	屋内運動場	1,358	36	84.3	I
4	富士見台中学校	屋内運動場	870	36	84.3	I
5	下吉田中学校	屋内運動場	1,565	35	84.3	I

整備優先順位表（中学校 屋内プール）						
優先順位	施設名	建物名	延床面積	築年数	健全度 100 点満点	施設重要度 改修難易度
1	下吉田中学校	屋内プール	925	25	37.8	Ⅲ
2	吉田中学校	屋内プール	997	23	37.8	Ⅲ
3	富士見台中学校	屋内プール	757	21	72.0	Ⅲ
4	明見中学校	屋内プール	967	22	75.0	Ⅲ

小学校の総合優先順位表

		健全度							
		低						高	
		Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ	
		50点未満		50点以上60点未満		60点以上80点未満		80点以上	
施設重要度・改修難易度	高	Ⅰ			吉田西小 校舎 1 (52. 8)	明見小 校舎 2 (61. 3)	明見小 校舎 1 (82. 2)	校舎 1 (82. 2)	
					下東小 校舎 2 (55. 2)	下東小 校舎 1 (62. 3)	吉田小 校舎 3 (82. 6)	校舎 3 (82. 6)	
					吉田西小 校舎 2 (55. 8)	吉田小 校舎 1 (66. 8)	下二小 屋運 (90. 8)	屋運 (90. 8)	
					下二小 校舎 1 (58. 7)	下二小 校舎 1 (67. 1)	下東小 屋運 (100)	屋運 (100)	
					明見小 校舎 3 (71. 3)	富士小 屋運 (100)	屋運 (100)	屋運 (100)	
						明見小 屋運 (100)	吉田西小 屋運 (100)	吉田小 屋運 (100)	
	Ⅱ				下一小 校舎 1 (55. 2)	富士小 校舎 1 (66. 9)			
下一小 屋運 (50. 8)									
	Ⅲ		吉田西小 プール (35. 2)	下東小 プール (56. 4)	吉田小 校舎 2 (72. 0)	下二小 プール (91. 5)			
			下一小 プール (59. 4)	吉田西小 校舎 3 (77. 2)	吉田小 プール (92. 0)				
				富士小 プール (65. 0)					
				明見小 プール (69. 5)					

中学校の総合優先順位表

		健全度			
		低			高
		I	II	III	IV
		50点未満	50点以上60点未満	60点以上80点未満	80点以上
施設重要度・改修難易度	高	明見中 校舎 1 (47.3) 下吉中 校舎 2 (49.7)	下吉中 校舎 1 (51.6)	吉田中 校舎 1 (63.7)	吉田中 屋運 (82.2) 明見中 屋運 (82.2) 富台中 屋運 (84.3) 富台中 屋運 (84.3) 下吉中 屋運 (84.3)
	I	優先度 ①	優先度 ②	優先度 ③	優先度 ④
	II	優先度 ②	優先度 ③	優先度 ④	優先度 ⑤
	III	下吉中 プール (37.8) 吉田中 プール (37.8)	吉田中 校舎 3 (50.0) 明見中 校舎 2 (53.0)	富台中 プール (72.0) 明見中 プール (75.0)	優先度 ⑥
	低	優先度 ③	優先度 ④	優先度 ⑤	優先度 ⑥

2. 実施計画の策定

改修順位付けの基本的な考え方を踏まえた、今後5年間の実施計画は以下のとおりです。

(百万円)

スケジュール					
		2020	2021	2022	2023
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		学校名	学校名	学校名	学校名
施設 関連 経費	新増築事業	下一小体育館 倉庫増築			
	改築事業				
	耐震化事業				
	長寿命化改修				明見中(長寿命化) 継続費 (体育館含む)
	大規模改造(老朽)				明見中(長寿命化) 継続費 (体育館含む)
	防災関連事業	明見中(受水槽)	吉田小(受水槽)		
	トイレ整備				
	空調設備	下一小(空調) 明見小(空調) 西小(空調)	下中(空調) 明中(空調) 吉田中(空調) 富士見台中(空調)		
	障害児等対策				
	特別支援学校の整備				
	部位修繕	下二小外壁塗装 下中渡り廊下塗装 下中外壁塗装 吉田中外壁塗装	小・中学校部位工事 下一小屋体外壁	小・中学校部位工事	小・中学校部位工事
	解体事業				
	その他施設整備費	下一小浸透枳		明見中(仮設校舎)	明見中(仮設校舎)
施設整備関連委託 (設計・監理等)		市内中学校4校 空調設備設計		西小(大規模改修) 南館・渡り廊下 基本・実施設計	西小(大規模改修) 南館・渡り廊下 基本・実施設計
		吉田小受水槽 改修設計			下中(長寿命化) 南館・体育館 基本設計
		明中(長寿命化) 校舎・屋体・格技 基本設計	明中(長寿命化) 校舎・屋体・格技 実施設計		

第7章 長寿命化計画の継続的運用方針

1. 情報基盤の整備と活用

学校施設の点検・診断の結果は、今後の維持管理していくための基礎資料となる重要なデータであるため、把握した現状データの蓄積を行う必要があります。

施設の状態や過去の改修・修繕履歴、事故・故障の発生状況等をデータベースに蓄積するとともに、12条点検等の法定点検の結果等、継続的な点検・調査の結果に基づいて、適切に更新を行っていきます。

2. 推進体制等の整備

本計画策定後も、学校施設の老朽化は進行し、学校施設に求められる機能や水準もライフスタイルの変化とともに変わっていくことが考えられます。

これらの学校施設の状況を適切に把握するためには、学校や教育委員会、点検等実施業者との連携が重要です。また、これからの少子高齢化に伴う諸問題の課題解決に向け、企画課・財政課・建築住宅課などとの連携も欠かせません。

3. フォローアップ

本計画の見直しについては、5年を目途としていますが、指針との整合性を図り、上位計画の変更や、社会情勢の変化などの状況に応じて、適宜見直しを行います。

また、本計画の効率的な推進に向け、次のPDCAサイクルを実行し、無駄のない事業推進を目指します。

- ① <Plan> 施設の状況を把握した上で、それを踏まえた整備計画を策定（本計画）
- ② <Do> 計画に基づく日常的な維持管理や適切な改修を実施
- ③ <Check> 整備による効果を検証し、整備手法の改善点などを整理
- ④ <Action> 次期計画に反映

進捗状況に関する評価の結果、その他状況の変化があった場合には、その時点における問題や新たな課題を検証し、今後の方向性を検討した上で、適切な見直し・修正を行います。